

国内自転車生産・輸出入状況（平成26年1～9月）

1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷および在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明される。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せ我が国自転車市場の動向が包括的に解説される。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及される。

尚、今回の報告の要点の一つとして、本年1～3月時点の自転車輸入台数は前年同期を10%ほど上回っていたものが、本年1～9月時点では前年同期を下回る実績を示しており、更に本年1～9月の生産台数も前年同期を下回ったため、本年1～9月の国内向け数量は過去8年間で最低となった昨年を更に下回り、過去9年間で最低を記録したことが挙げられよう。

2. 我が国の自転車生産

経済産業省生産動態統計調査によると、平成26年1～9月の我が国の完成自転車生産台数は714,290台、完成自転車生産金額は354億600万円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は0.1%減、総生産金額は12.5%増となっている。また平成26年1～9月の完成自転車生産平均単価は49,568円となっており、前年同期の44,026円から12.6%上昇した。この模様を表1に示す。

表1 平成26年1～9月の我が国自転車生産

	総生産台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成26年1～9月	714,290	35,406	49,568
平成25年1～9月	714,851	31,472	44,026
変化	-561	3,934	5,542
変化%	-0.1%	12.5%	12.6%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～9月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。「電動アシスト車」が増加しているが「軽快車」と「その他」が減少したため、全体の生産台数は僅かに減少していることがわかる。

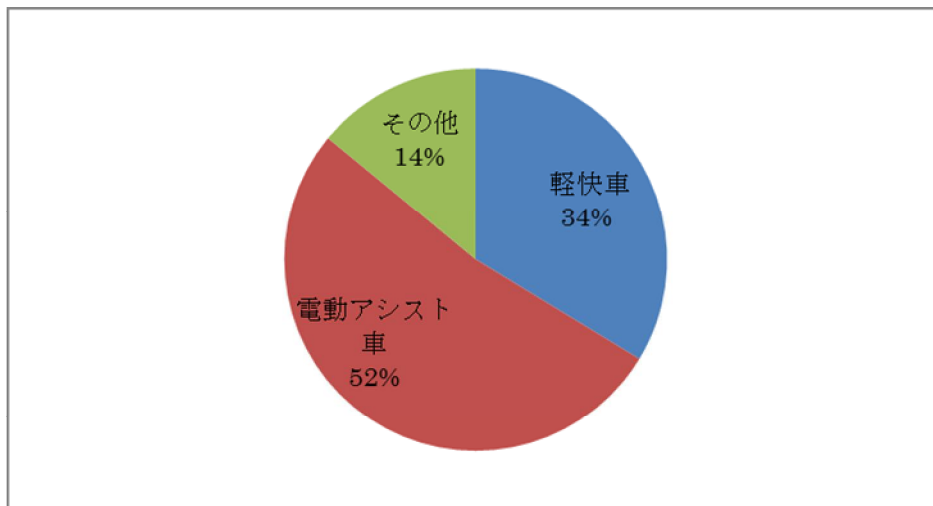
表2 車種別生産状況 平成26年1～9月と平成25年1～9月との比較

1～9月 車種	平成26年		平成25年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	240,498	4,778	276,806	5,378	-36,308	-13.1	-600	-11.2
電動アシスト車	373,612	28,010	333,121	23,603	40,491	12.2	4,407	18.7
その他	100,180	2,620	104,924	2,491	-4,744	-4.5	129	5.2
計	714,290	35,406	714,851	31,472	-561	-0.1	3,936	12.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に平成26年1～9月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が52%を占め、次いで「軽快車」が34%を占めている。

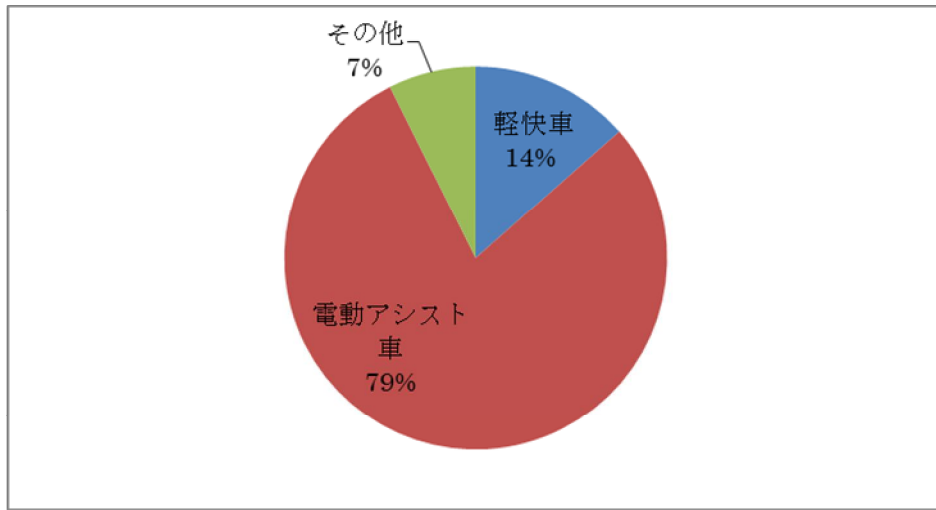
図A 平成26年1～9月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成26年1～9月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が79%を占めている。

図 B 平成 26 年 1～9 月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成 26 年 1～9 月と平成 25 年 1～9 月とを比較した表 3 を示す。全ての車種で上昇しており、全体の生産平均単価は 12.6%上昇している。

表 3 車種別生産平均単価 平成 26 年 1～9 月と平成 25 年 1～9 月との比較

車種	平成 26 年 1～9 月 生産平均単価(円)	平成 25 年 1～9 月 生産平均単価(円)	変化 (円)	変化(%)
軽快車	19,867	19,429	438	2.3
電動アシスト車	74,971	70,854	4,117	5.8
その他	26,153	23,741	2,412	10.2
計	49,568	44,026	5,542	12.6

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 25 年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表 4 の通りとなる。生産台数・金額とも増加が続いているが、最近になって増加の勢いに若干衰えがみられるようにも見受けられ、本年 9 月の生産平均単価は昨年同期を下回っている。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成26年と平成25年との比較

	平成26年			平成25年			平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価(円)	生産台数(台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	
1月	39,834	2,930	73,555	33,738	2,476	73,389	166
2月	42,915	3,124	72,795	39,834	2,436	61,154	11,641
3月	50,093	3,709	74,042	42,603	3,064	71,920	2,122
4月	42,224	3,179	75,289	40,518	2,890	71,326	3,963
5月	40,431	3,096	76,575	34,197	2,482	72,579	3,995
6月	43,128	3,337	77,374	36,196	2,500	69,068	8,306
7月	44,545	3,369	75,631	37,811	2,782	73,576	2,055
8月	32,971	2,531	76,764	31,997	2,298	71,819	4,945
9月	37,471	2,735	72,990	36,227	2,675	73,840	-850
1~9月	373,612	28,010	74,971	333,121	23,603	70,854	4,117

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

3. 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成26年1~9月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
平成26年1~9月と平成25年1~9月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			9月末在庫 (台)
	台数	金額(百万円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(百万円)		
平26.1~9 軽快車	240,498	4,778	605,448	670,235	10,009	237,105	60,651
平25.1~9 軽快車	276,806	5,378	659,553	738,486	11,606	253,599	88,132
変化 %	-13.1	-11.2	-8.2	-9.2	-13.8	-6.5	-31.2
平26.1~9 電動アシスト車	373,612	28,010	252,545	371,395	25,930	251,945	27,841
平25.1~9 電動アシスト車	333,121	23,603	227,919	336,363	23,178	222,439	23,211
変化 %	12.2	18.7	10.8	10.4	11.9	13.3	19.9
平26.1~9 その他	100,180	2,620	313,229	316,953	6,089	105,924	31,751
平25.1~9 その他	104,924	2,491	367,671	364,439	6,393	112,020	60,888
変化 %	-4.5	5.2	-14.8	-13.0	-4.8	-5.4	-47.9
平26.1~9 全車種計	714,290	35,406	1,171,222	1,358,583	42,027	594,974	120,243
平25.1~9 全車種計	714,851	31,472	1,255,143	1,439,288	41,178	588,058	172,231
変化 %	-0.1	12.5	-6.7	-5.6	2.1	1.2	-30.2

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、平成26年1～9月の全車種の「受入」台数は平成25年1～9月の「受入」台数に比べ6.7%減少した。車種別には、「軽快車」が8.2%減少したほか、幅広い車種を含んでいる「その他」も14.8%減少した。一方「電動アシスト車」の「受入」台数は10.8%増加した。「受入」台数の多くは自転車生産企業が輸入した自転車台数と推測される。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成26年1～9月の全ての車種の「出荷・販売」台数は平成25年1～9月のそれに比べ5.6%減少した。車種別にみると、「軽快車」が9.2%、「その他」が13.0%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は10.4%増加した。「出荷・販売」金額については、全車種では2.1%増加し、車種別では「軽快車」が13.8%、「その他」が4.8%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は11.9%増加した。

平成26年1～9月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成25年1～9月のそれに比べ1.2%増加した。車種別にみると、「軽快車」が6.5%、「その他」が5.4%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は13.3%増加した。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成26年9月の全車種の「月末在庫」台数は120,243台で、前年同月の172,231台から30.2%と大きく減少している。

表6に平成18年から平成26年まで過去9年間の毎年1～9月の我が国の自転車生産、出荷及び9月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～9月の自転車生産・出荷及び9月末在庫の過去9年間の推移

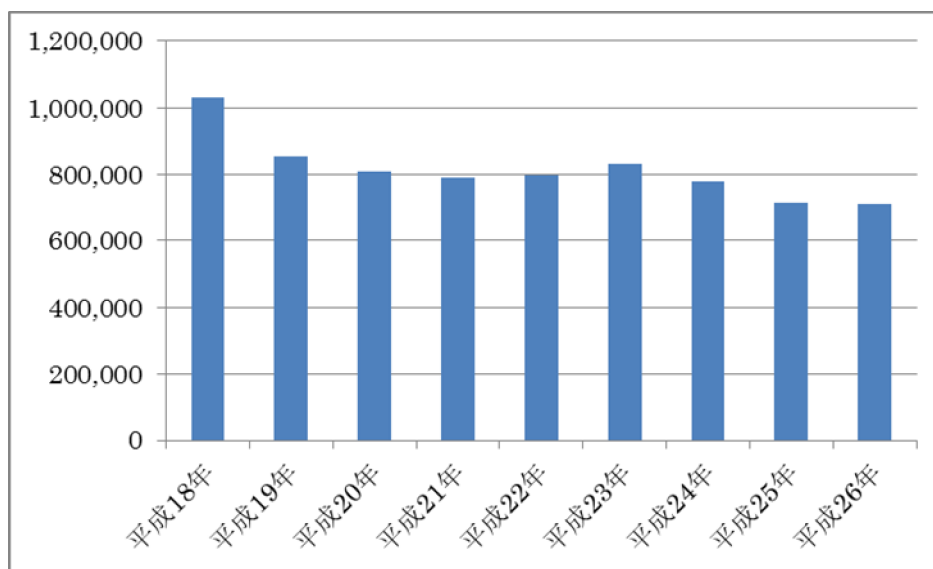
1～9月	生産			出荷			9月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成26年	714,290	35,406	49,568	1,358,583	42,027	30,934	120,243
平成25年	714,851	31,472	44,026	1,439,288	41,178	28,610	172,231
平成24年	781,456	31,333	40,096	2,133,627	47,298	22,168	200,587
平成23年	831,406	32,805	39,457	2,422,142	51,603	21,305	184,768
平成22年	797,261	28,239	35,420	2,423,522	46,420	19,154	157,379
平成21年	792,224	25,658	32,387	2,462,655	44,584	18,104	172,896
平成20年	810,141	20,777	25,646	2,752,694	41,621	15,120	154,625
平成19年	854,776	18,946	22,165	2,877,110	37,740	13,117	168,033
平成18年	1,031,806	19,538	18,936	3,173,847	37,993	11,971	190,393

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年以前の数値は改定値）、
分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～9月の「生産台数」は前年同期に比べ若干減少し過去9年間で最低となっている。一方、「生産金額」は過去9年間で最高を記録している。これらのことから「生産平均単価」も過去9年間で最高である。また平成26年1～9月の「出荷台数」は過去9年間で最低で、「出荷金額」は過去9年間で丁度真中の5番目であった。「出荷平均単価」は過去9年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が9年間一貫して高くなっている。「9月末在庫台数」は120,243台で、過去9年間で最低である。

表 6 を基に平成 18 年から平成 26 年までの過去 9 年間の毎年 1～9 月の生産台数の推移をグラフで示したものが図 C である。生産台数は減少傾向にあることが示されている。

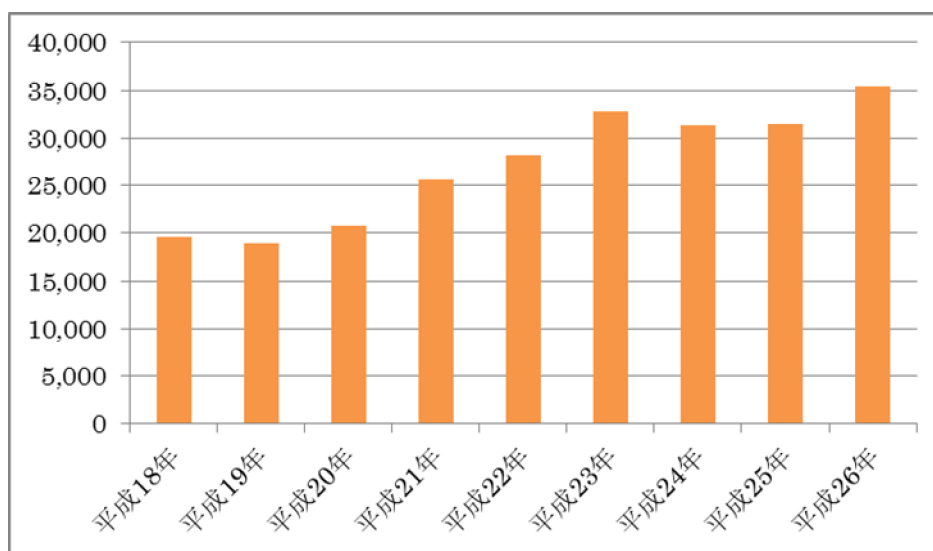
図 C 1～9 月の我が国自転車生産台数の過去 9 年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表 6 を基に平成 18 年から平成 26 年までの過去 9 年間の毎年 1～9 月の生産金額の推移をグラフで示したものが図 D である。生産金額は増加傾向にあることがわかる。

図 D 1～9 月の我が国自転車生産金額の過去 9 年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

4. 我が国の自転車輸入

4-1 平成 26 年 1～9 月の輸入状況の概要

表 7 は平成 26 年 1～9 月の全ての車種の自転車の我が国への輸入について前年同期と比較しながら示したものである。総台数は 0.1%減少し、総 CIF 金額は 7.5%増加した。これらの結果、平均 CIF 単価は 7.6%上昇した。

表 7 平成 26 年 1～9 月の我が国の自転車輸入 平成 25 年 1～9 月との比較

	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 26 年 1～9 月	6,156,819	65,371,003	10,618
平成 25 年 1～9 月	6,164,050	60,817,427	9,866
変化	-7,231	4,553,576	751
変化 %	-0.1	7.5	7.6

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

4-2 平成 26 年 1～9 月の車種別輸入状況

以下に車種別の輸入状況について言及していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。

表 8 輸入における車種区分 関税番号

品名区分／関税番号	車 種
8712.00100 マウンテンバイク	・ MTB(V ブレーキ・Disk ブレーキ装着車を含む) ・ クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ ミニサイクル ・ 小径折りたたみ車 ・ BMX
8712.00218 幼児車	・ 幼児車(12～16 吋) ・ 乗用玩具(12 吋二輪車) ・ 一輪車(12～16 吋)
8712.00219 子供車	・ 子供車(18～24 吋) ・ Jr.MTB(18～24 吋) ・ 一輪車(18～24 吋)
8712.00291 軽快車	・ 軽快車(外装変速機付は含まない) ・ シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・ スポーツ車 ・ 外装変速機付軽快車 ・ Jr.MTB(26 吋)

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

表 9 は平成 26 年 1～9 月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表9 平成26年1～9月 我が国の車種別自転車輸入

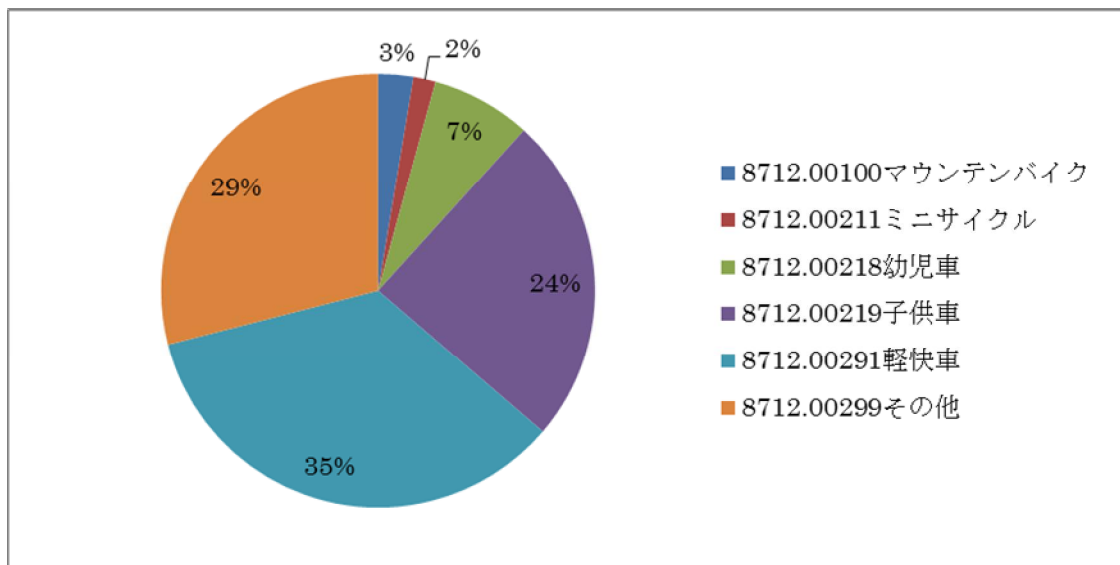
関税番号及び車種	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	161,017	3,076,764	19,108
8712.00211 ミニサイクル	102,141	1,086,132	10,634
8712.00218 幼児車	459,005	3,204,008	6,980
8712.00219 子供車	1,510,857	13,560,769	8,976
8712.00291 軽快車	2,137,669	19,629,843	9,183
8712.00299 その他	1,786,130	24,813,487	13,892
計	6,156,819	65,371,003	10,618

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均CIF単価が19,108円と最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」は最も台数が多く、平均CIF単価は9,183円となっている。また8712.00299 に分類される「その他」にはスポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれるが、総CIF金額は6つの輸入車種区分の中で最も多くなっており、平均CIF単価は13,892円である。

表9を基に、平成26年1～9月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Eである。「軽快車」が35%を占め、次いで「その他」が29%を占めている。

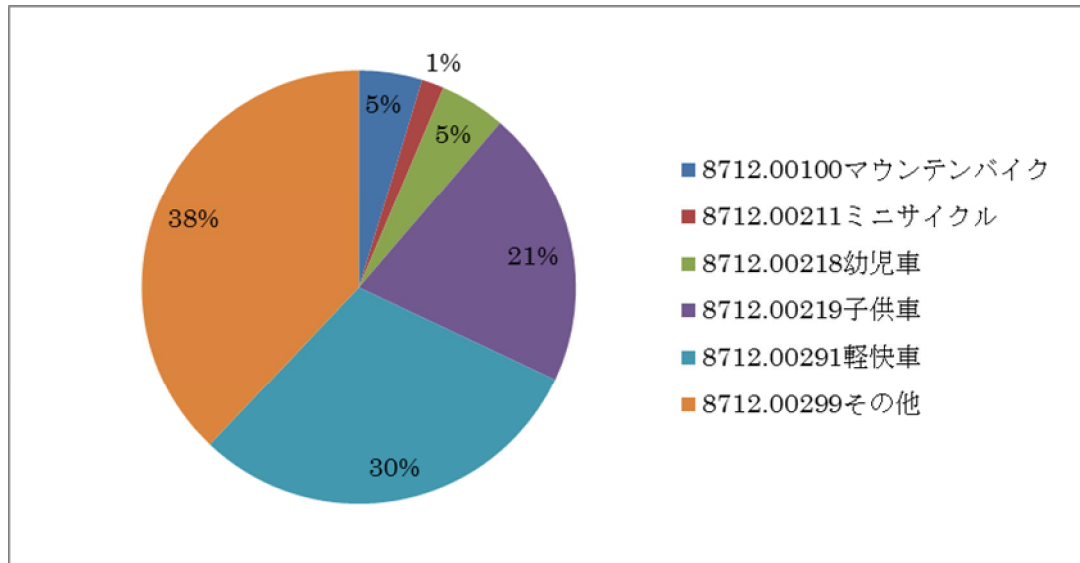
図E 平成26年1～9月の我が国自転車輸入 車種別台数割合



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表9を基に、平成26年1～9月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Fである。「その他」が38%、「軽快車」が30%と大きな割合を占めている。

図 F 平成 26 年 1～9 月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 10 は平成 26 年 1～9 月の車種別の我が国の自転車輸入について昨年同期と比較しながら示したものである。

表 10 我が国の車種別自転車輸入 平成 26 年 1～9 月と平成 25 年 1～9 月との比較

1～9 月 車種	平成 26 年		平成 25 年		変化 %	
	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額
8712.00100 マウンテンバイク	161,017	3,076,764	155,838	3,262,711	3.3%	-5.7%
8712.00211 ミニサイクル	102,141	1,086,132	61,608	752,723	65.8%	44.3%
8712.00218 幼児車	459,005	3,204,008	448,419	2,782,083	2.4%	15.2%
8712.00219 子供車	1,510,857	13,560,769	1,559,473	12,996,797	-3.1%	4.3%
8712.00291 軽快車	2,137,669	19,629,843	2,236,418	19,176,351	-4.4%	2.4%
8712.00299 その他	1,786,130	24,813,487	1,702,294	21,846,762	4.9%	13.6%
計	6,156,819	65,371,003	6,164,050	60,817,427	-0.1%	7.5%
平均単価(円)		10,618		9,866		7.6%

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

「マウンテンバイク」は輸入台数が増えたものの、金額は減少した。また「ミニサイクル」「幼児車」「その他」は輸入台数、金額とも増加し、「子供車」「軽快車」は台数が減少したものの金額が増加した。

4-3 1~9月の輸入状況の過去14年間の推移

表1-1は毎年1~9月の我が国の自転車輸入の過去14年間の推移を示したものである。

表1-1 毎年1~9月の我が国の自転車輸入の過去14年間の推移 全車種

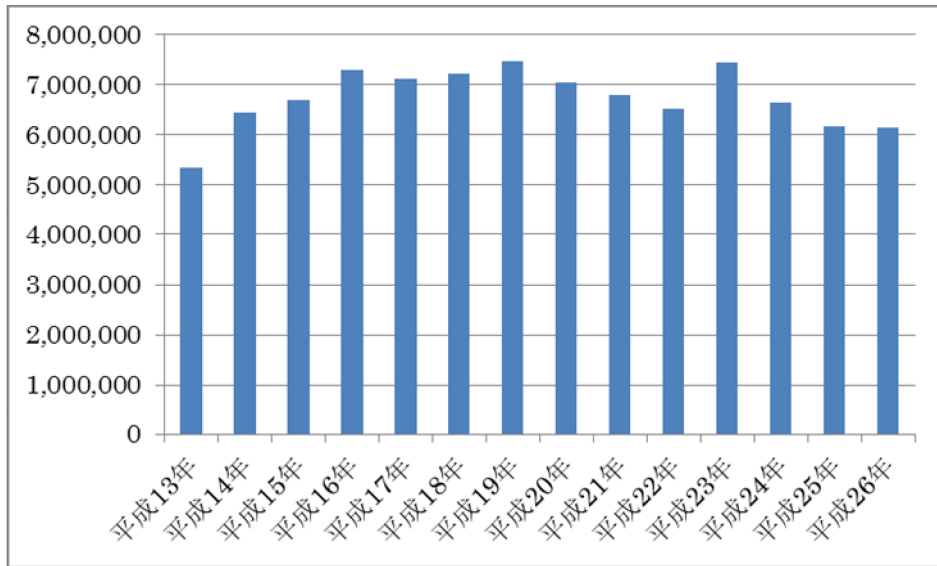
年	総輸入台数	総CIF金額 (千円)	平均CIF単 価(円)
平成26年	6,156,819	65,371,003	10,618
平成25年	6,164,050	60,817,427	9,866
平成24年	6,645,307	56,656,703	8,526
平成23年	7,439,430	57,834,666	7,774
平成22年	6,532,074	50,373,649	7,712
平成21年	6,805,437	56,381,637	8,285
平成20年	7,055,737	59,974,342	8,500
平成19年	7,472,189	57,862,958	7,744
平成18年	7,218,377	50,558,242	7,004
平成17年	7,122,058	44,209,302	6,207
平成16年	7,305,694	43,755,916	5,989
平成15年	6,698,629	43,365,779	6,474
平成14年	6,457,247	44,595,096	6,906
平成13年	5,354,178	39,414,457	7,361

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1~9月の総輸入台数は、過去14年間で平成13年以来2番目に少なくなっている。また冒頭に記したとおり、生産動態統計と比較可能な平成18年以降では最低となっている。一方、1~9月の総CIF金額は過去14年間で最高である。これらの事から平均CIF単価は10,618円となり、これも過去14年間で最高となっている。

表1-1を基に平成13年から平成26年までの過去14年間の毎年1~9月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図Gである。

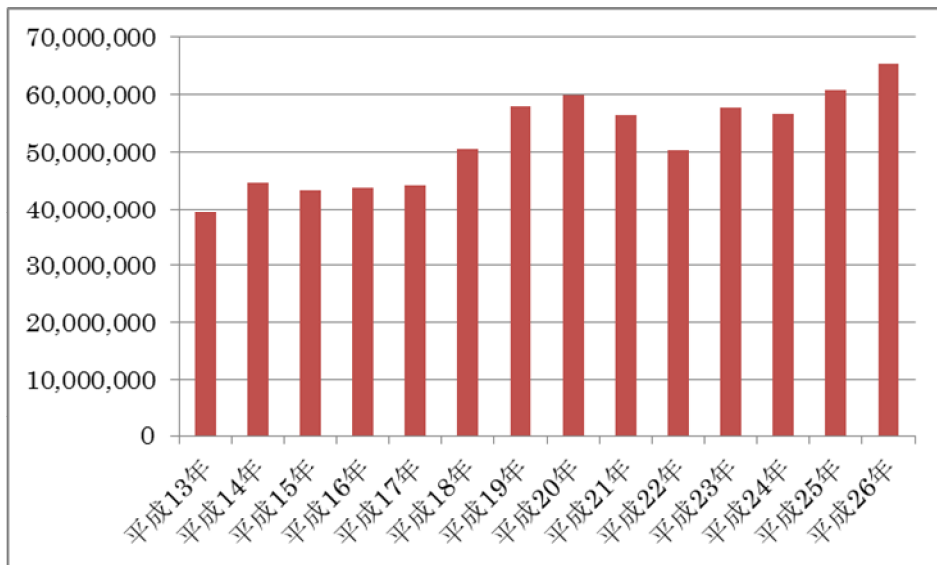
図 G 毎年 1～9 月の我が国自転車輸入総台数の過去 14 年間の推移(単位：台)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～9 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 H ある。

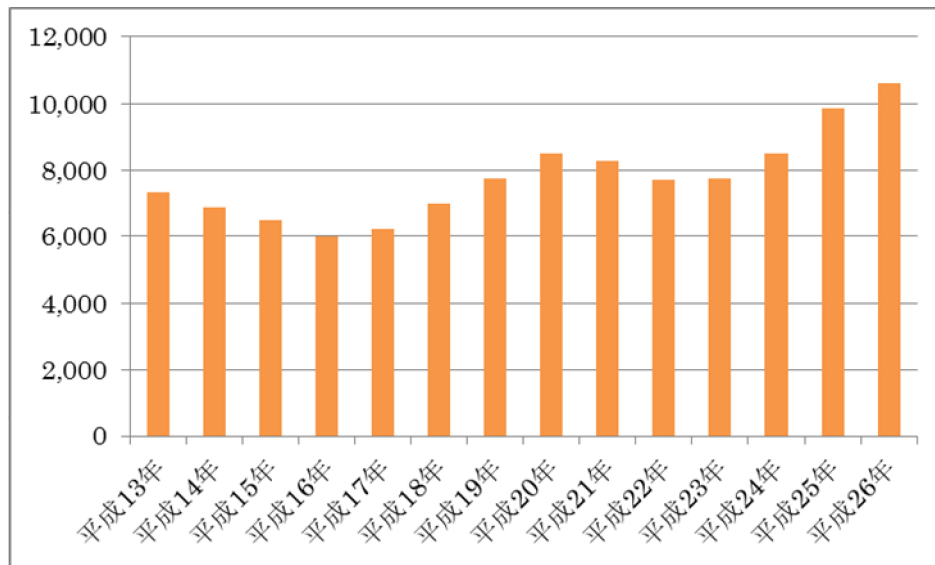
図 H 毎年 1～9 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 14 年間の推移(単位：千円)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～9 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 I ある。

図1 毎年1～9月の我が国自転車輸入平均CIF単価の過去14年間の推移(単位：円)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去14年間の推移を示したものが表12である。本年1月の輸入台数が特に大きかったことがわかる。その後4月、5月と比較的低水準となり、6月には若干回復したが、その後7月から9月にかけて再び低調となっている。

表12 月毎の総輸入台数の過去14年間の推移(単位：台)

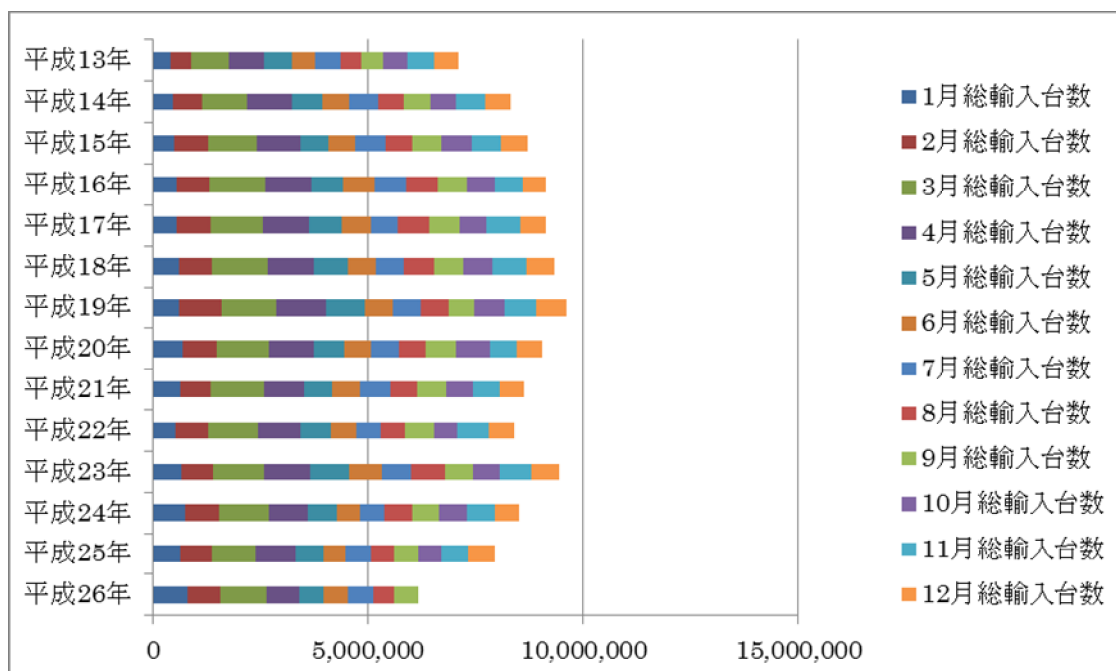
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成26年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成25年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成24年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成23年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成22年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成21年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成20年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成19年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成18年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成17年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成16年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成15年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成14年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883
平成13年	402,134	489,191	875,729	821,736	646,209	520,779

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	総輸入台数
平成26年	572,129	504,218	543,409	—	—	—	6,156,819
平成25年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成24年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成23年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成22年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成21年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成20年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成19年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成18年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成17年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成16年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成15年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626
平成14年	678,438	585,452	634,374	597,460	671,907	599,479	8,326,093
平成13年	597,110	492,476	508,814	557,178	635,910	544,374	7,091,640

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12の月毎の総輸入台数の過去14年間の推移をグラフにより示したものが図Jである。

図J 月毎の総輸入台数の過去14年間の推移（単位：台）



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表13は、毎年1～9月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去14年間の推移について示したものである。

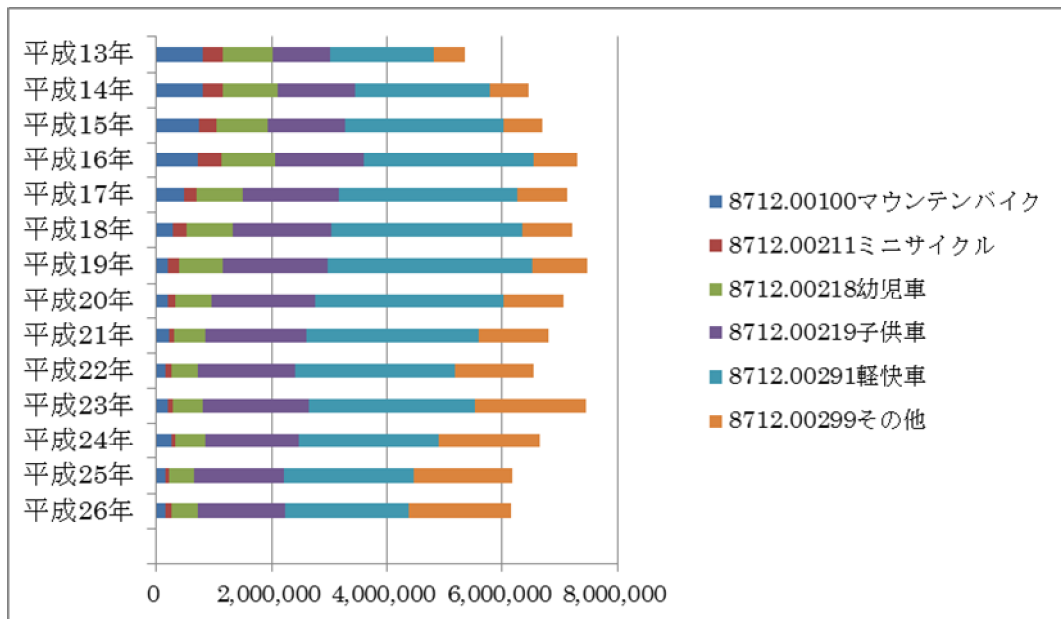
表13 毎年1～9月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去14年間の推移
(単位：台)

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成26年	161,017	102,141	459,005	1,510,857	2,137,669	1,786,130	6,156,819
平成25年	155,838	61,608	448,419	1,559,473	2,236,418	1,702,294	6,164,050
平成24年	263,293	73,898	520,291	1,625,858	2,412,687	1,749,280	6,645,307
平成23年	204,466	89,494	507,755	1,838,854	2,874,802	1,924,059	7,439,430
平成22年	159,596	100,863	463,636	1,680,444	2,763,673	1,363,862	6,532,074
平成21年	221,487	97,949	543,869	1,750,154	2,986,599	1,205,379	6,805,437
平成20年	206,337	127,621	617,671	1,795,229	3,282,025	1,026,854	7,055,737
平成19年	212,984	180,294	755,253	1,823,903	3,546,312	953,443	7,472,189
平成18年	300,333	221,438	812,645	1,712,322	3,304,125	867,514	7,218,377
平成17年	476,491	215,266	804,519	1,667,859	3,097,990	859,933	7,122,058
平成16年	731,326	411,346	926,063	1,533,653	2,933,335	769,971	7,305,694
平成15年	746,735	303,568	882,296	1,343,271	2,749,286	673,473	6,698,629
平成14年	815,191	334,919	962,470	1,336,330	2,344,473	663,864	6,457,247
平成13年	802,552	354,215	871,272	984,838	1,798,351	542,950	5,354,178

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～9月は「ミニサイクル」が増加したほかは、各車種とも前年同期並みと言って良い水準である。この模様をグラフで示すと図Kのようになる。

図K 毎年1～9月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去14年間の推移（単位：台）



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

4-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

平成26年1～9月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表14である。

表14 平成26年1～9月 我が国の完成自転車輸入 主要供給元

供給元	台数	輸入総台数に占める割合(%)	CIF金額(千円)	輸入総金額に占める割合(%)	平均CIF単価(円)
中華人民共和国	5,965,424	96.9	56,841,203	87.0	9,528
台湾	179,263	2.9	7,621,235	11.7	42,514
その他	12,132	0.2	908,565	1.4	74,890
計	6,156,819	100.0	65,371,003	100.0	10,618

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の96.9%、総CIF金額の87.0%を占めている。平均CIF単価は9,528円であった。これに次ぐのが「台湾」で、台数の2.9%、総CIF金額の11.7%を占め、平均CIF単価は42,514円である。これら2つの国・地域で総台数の99.8%、総CIF金額の98.6%を占めている。

5. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年1～9月の「国内向け数量」の過去9年間の推移を表15に示す。冒頭に記した通り平成26年1～9月の「国内向け数量」は生産台数・輸入台数とも過去9年間で最も少なくなったため、過去9年間で最低となっている。また国内生産比率は10.4%となっている。

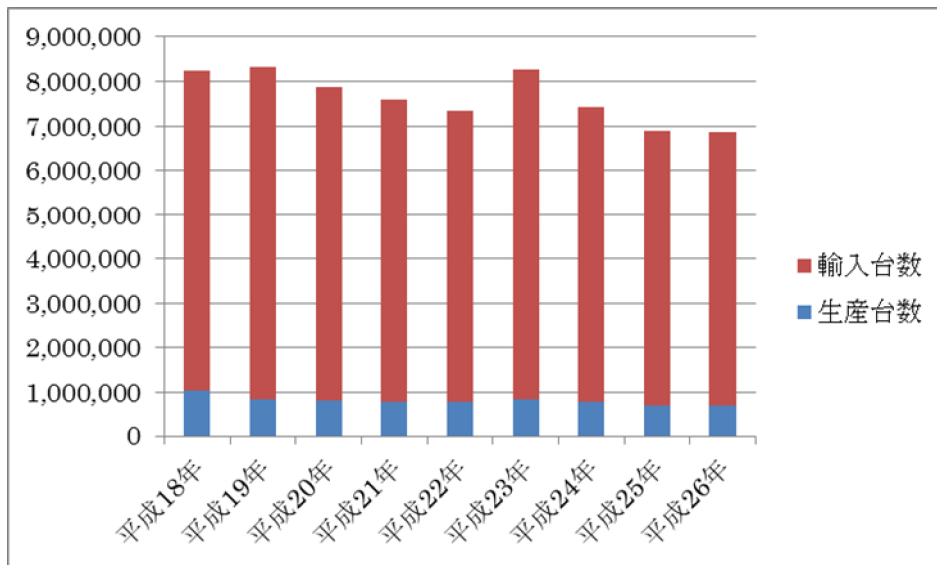
表15 毎年1～9月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去9年間の推移

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成26年	714,290	6,156,819	6,871,109	10.4
平成25年	714,852	6,164,050	6,878,902	10.4
平成24年	781,456	6,645,307	7,426,763	10.5
平成23年	831,406	7,439,430	8,270,836	10.1
平成22年	797,261	6,532,074	7,329,335	10.9
平成21年	792,224	6,805,437	7,597,661	10.4
平成20年	810,141	7,055,737	7,865,878	10.3
平成19年	854,776	7,472,189	8,326,965	10.3
平成18年	1,031,806	7,218,377	8,250,183	12.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図Lである。

図 L 毎年 1～9 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 9 年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 25 年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

6. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成 26 年 9 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 1 6 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 1 6 平成 26 年 9 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
カンボジア	49,354	69,426	1,407
ガーナ	46,738	66,120	1,415
ミャンマー	46,478	68,177	1,467
タンザニア	33,489	50,520	1,509
UAE	20,088	35,049	1,745
アフガニスタン	18,562	29,372	1,582
タイ	15,577	35,640	2,288
フィリピン	12,278	18,393	1,498
ナイジェリア	11,771	22,120	1,879
香港	9,202	21,086	2,291
その他	24,380	38,628	1,584
計	287,917	454,531	1,579

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 7 に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～9 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数・総金額ともに増加傾向にあり平成 26 年 1～9 月は過去 14 年間で最高となっている。本年 1～9 月の平均 FOB 単価は 1,514 円で、過去 14 年で 2 位となっている。

表 17 毎年 1～9 月の我が国自転車輸出の過去 14 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 26 年	2,420,141	3,665,287	1,514
平成 25 年	2,323,183	3,157,174	1,359
平成 24 年	2,193,967	2,874,936	1,310
平成 23 年	1,907,450	2,514,470	1,318
平成 22 年	1,751,898	2,328,719	1,329
平成 21 年	1,595,171	2,190,288	1,373
平成 20 年	1,743,907	2,904,059	1,665
平成 19 年	1,420,134	1,935,946	1,363
平成 18 年	960,014	1,034,642	1,078
平成 17 年	879,327	992,025	1,128
平成 16 年	751,450	957,533	1,274
平成 15 年	605,229	815,940	1,348
平成 14 年	479,374	629,893	1,314
平成 13 年	377,067	544,405	1,444

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上